

平成 25 年度 第 8 回 マザーレイクフォーラム運営委員会 議事録

日時	2014 年 1 月 14 日 (火) 18:15~20:30	
場所	滋賀県庁北新館 5-A 会議室	
出席者 (50 音順、 敬称略)	石河 康久	滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課
	井手 慎司	滋賀県立大学環境科学部
	北田 俊夫	NPO 法人 びわこ豊穰の郷
	川端 隆弘	公益財団法人淡海環境保全財団
	小林 泉	滋賀県琵琶湖環境部
	佐藤 祐一	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
	中野 隆弘	びわ湖エコアイデア倶楽部
	廣田 大輔	滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課
	松沢 松治	びわ湖の水と地域の環境を守る会
	三和 伸彦	滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課
	村上 悟	NPO 法人碧いびわ湖
	村井 洋一	滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課
	望月 孝幸	滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課
	平山 奈央子	滋賀県立大学環境科学部
村上 浩継	フリーコンサルタント	

※今回欠席（敬称略）：伊吹美賀子（湖南流域環境保全協議会）、関慎介（滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課）、辻博子（一般社団法人滋賀グリーン購入ネットワーク）、中村満（湖南・甲賀環境協会）、野田晃弘（NPO 法人蒲生野考現倶楽部）、堀彰男（滋賀県魚のゆりかご水田プロジェクト推進協議会）、山口美知子（滋賀地方自治研究センター）、渡辺維子（元：公益社団法人滋賀県環境保全協会）

今回の決定事項（要約）

- ・ 第 4 回びわコミ会議は、8/23（土）10:30~16:30 にコラボしが 21（予定）で開催する。合わせてその前後にエクスカーション（現地視察）を開催する。
- ・ 第 4 回びわコミ会議に参加してもらいたいメンバーやテーマについて、2月中旬に拡大 WG を開催する。
- ・ 「各団体・活動の計画への位置づけ」を早急に形にし、MLF 登録団体に対してフィードバックする。

1. はじめに

今回の運営委員会より、滋賀県立大学の平山奈央子氏が協力者として参加することとなった。

2. 各ワーキングからの報告

前回の運営委員会より設置された 4 つのワーキング「WG1 計画への位置づけ（マザーレイク曼荼羅）」「WG2 Web サイトの運営」「WG3 地域での実践・評価」「WG4 びわコミ会議」について、関係者からその後の協議・検討結果の報告があった。報告の概要は以下の通りである。

(1) WG1 マザーレイク曼荼羅(報告者:三和)

- ・ 11 月 19 日に関係者で会合を実施した。概要は別紙の通りである。

(2) WG2 Web サイトの運営(報告者:佐藤・村上浩継)

- ・ 12月9日に関係者で会合を実施し、その後 Web サイト委託業者も交えて別途協議を行った。概要は別紙の通りである。

(3) WG3 地域での実践・評価(報告者:村上悟・平山)

- ・ WG3 としての会合はまだ開催していないが、関係者と個別に方針等の話を進めてきた。
- ・ 本 WG では、地域活動をどうつくっていくか、またその体制づくりや担い手の育成をどのように行うかを、地域での実践を通じて考えていきたい。これまで碧いびわ湖では、その一環として、目田川や栗東の竹林において、母親と子どもたちを中心に暮らしについて考えたり体感・実践したりする場づくりを行っている。
- ・ これまでの活動から、財源の確保や持続性、自治会などの支援・協力をどう得るかといった課題や、「環境」というキーワードから入らないといったエッセンスが見えてきている。また、活動を広げていくという視点からは、外部からの評価と合わせ、活動している人たちの気持ちの変化を把握していくことが重要だと考えている。
- ・ これら活動の成果や課題を、運営委員会等でも共有、フィードバックできればと考えている。

(4) WG4 びわコミ会議(報告者:井手)

- ・ 12月3日に関係者で会合を実施した。概要は別紙の通りである。

3. 意見交換

各ワーキングからの報告を受けて、参加者により意見交換を行った。主な議論は以下の通りである。

(1) 第4回びわコミ会議の日程と場所について

- ・ 協議の結果、WG4 からの提案通り、8/23(土) 10:30~16:30 の日程でびわコミ会議(報告+ワークショップ)を開催することとした。現場に学ぶという趣旨は、別途開催するエクスカッション(現地視察)により担保することとした。また、場所は利便性を鑑みて例年通りコラボしが21で決定した(まだ会場予約ができないため、あくまで第一候補として)。
- ・ 一方、エクスカッションの開催方法については以下の通り複数の考え方が提示され、WG4 が中心となって検討を進めていくことになった。
 - 会議の後にエクスカッションがあると周知しやすいといったメリットがあり、逆にエクスカッションの後に会議を行えば現場を見てから議論できるといったメリットがある。
 - エクスカッションは、運営委員会として一つのを企画することもできるが、会議第2部のグループごとに企画してもらうといった方法もある。あるいは、関係する団体が実施する活動をエクスカッションに位置づけ、チラシ等で合わせて周知する方法もある。
- ・ 同日における知事等関係者の日程を確認しておく。
- ・ 今年 ESD(持続可能な開発のための教育)に関するユネスコ世界会議が日本で開催されることを受け、ラムサールセンターと県自然環境保全課が同じ頃に全国の子どもたちを招聘しようとする動きがある(滋賀県では「びわっこ大使」の事業の一環として)。この動きと MLF との連携や共

催の可能性については、今後詳細な情報を入手しながら検討していく。

(2) 第4回びわコミ会議のテーマや内容について

- ・ テーマは独立して考えるのではなく、参加者で共有したい先進事例やその顔ぶれから考えていてはどうか。2月中旬を目処に、WG4を拡大したメンバーで話し合う。
- ・ ただし日時やグループテーマの募集については早い段階で告知していく必要があるため、当面は仮テーマを設定して広報していく。仮テーマはWG4で決定し、メール等で運営委員会に連絡する。
- ・ 第3回びわコミ会議で出されたテーマ候補には、びわコミ会議全体の恒常的なキャッチフレーズにもなりうるものがある。チラシやWebサイトへの活用なども含めて検討する。

(3) MLF登録団体への情報発信について

- ・ 50団体程度にエントリーしてもらったものの、そのフィードバックを何も行えていないことが大きな課題である。
- ・ 現在のエントリーシートでは、ML21計画の2本柱のどこに位置づけられるかを記載してもらうようにしているが、将来像に位置づけた方がよいという考え方もある。また将来像といっても、計画に記載された「春は…、夏は…」といった文章もあれば、琵琶湖流域管理シナリオ研究会で作成した日記や詳細将来像もある。
- ・ ともかく、これまで議論してきた「各団体・活動の計画への位置づけ」を早急に形にし、エントリーしてもらった団体・個人にフィードバックすることが重要であることから、完全な理想型でなくてもよいのですぐにできるような取りまとめ方を考える。

4. その他

- ・ 運営委員会は概ね2ヶ月に1回の頻度で開催していくものとする。次回は3/14（金）18:15より県庁で開催する。

【当日のホワイトボード】

◎ 地域での連携 WG (村上博司) — ^{メンバー} 辻, 小林, 平山

- ・ 会合は未開催、個別に方針等の話
- ・ 地域活動をどうつくるか その(体制づくり)は...?
- ・ 例: 目田川 } 子どもと母親たち + 暮らし
菜葉の竹林 } ... 夏原グラントの支援
(日記はいい)
- ・ 財源、どうつくり、持続性
- ・ 「環境」から入らなくていい
- ・ 自治会などの支援・協力
- ・ 外部からの評価 \square (事前に) 変化の11? \Rightarrow イベント式の
評価+拡大
- ・ 連携活動の成果や課題 \Rightarrow 共有、フィードバックできれば

◎ びわこ大使 = 小学生 (ラムール先生参加)

- ・ ラムールセンター、自然環境保全課で ESD の紹介
- \Rightarrow 2014年2月8日に?
- ・ 全日 の 登り 環境 内の ネットワーク


◎ 場所・日程 (びわこコミ)

- ・ 知事 の 日程 確認 (ただし選挙後)
- ・ 8/23(土) 10:30 ~ 16:30 (コラボが 9:00 ~ 17:00 の為)
- ・ 会費 + エクスカージョン \rightarrow 同知しにくい
- ・ エクスカージョン + 会費 \rightarrow 現場をみてギロン
- ・ エクスカージョン \rightarrow グループごとに設定もあり (後決)
- \rightarrow 各団体 借金 (周知はチラシで)
- + びわこコミの 同知・PR

◎ 意見交換

- ・ 既登りの団体への発信
- ・ 計画の位置づけ \rightarrow 開示にする
- \rightarrow 今は2本柱だが、将来は1本に位置づけた方が具体的
- ・ 書かれたこととお話ししたい
- ・ 「踏み出し」 \rightarrow 「つながるまじかじ」という視点
- ・ DB は 必ず 入り が必要 (複雑にしすぎると特に)
- ・ エントリーに Visia を書いてもらう \rightarrow それを base に ためておく?

- ・ まずは簡単なまとめでいいから
- ・ フィードバックする (会費も考えていい)



- ・ どの様な「先進」事例を皆で共有するとい?
- \rightarrow 本1部の 報告者とも今お話し
- \rightarrow 報告者から テーマを共有?
- \rightarrow 「気になる」「面白い」...
- ・ 「誰に声をかけるか」「誰と誰をセレクトするか」はコントロールできる

- ・ 仮テーマを決めて、日時とセットで
- ・ 告知 \Rightarrow 並行して(テーマ)検討 (X:バ)
- ・ びわこコミの キャッチフレーズ が あるといい
- \rightarrow WG で 決定
- ・ 履き出しは 拡大 WG で 話し合う
- \Rightarrow 2月中旬 X:バ

次回の

3	13	1	(#)
14	0		
17	3		
18	3		
19	3		
20	3		

↑ 2月
↓ 4月

— 以上 —